

平成 29 年度

(第 25 期)

## 事 業 報 告 書

自 平成 29 年 4 月 1 日  
至 平成 30 年 3 月 31 日



公益財団法人とかち財団



## 平成29年度事業報告書 目次

1 概況	-----	1
2 食産業支援事業【公益目的事業1】		
(1) 試験研究事業	-----	2
(2) 技術相談・指導事業	-----	4
(3) 情報提供事業	-----	7
(4) 人材養成事業	-----	8
(5) 技術交流事業	-----	10
(6) 検査分析事業	-----	11
(7) 指定管理業務	-----	12
3 ものづくり産業支援事業【公益目的事業2】		
(1) 試験研究事業	-----	13
(2) 技術指導・企業相談事業	-----	15
(3) 情報提供事業	-----	16
(4) 人材養成事業	-----	17
(5) 検査分析事業	-----	18
(6) 産学連携事業	-----	19
(7) 施設管理、会議室等利用提供	-----	20
4 地域連携支援事業【公益目的事業3】		
(1) 開発商品等のPRおよび販路拡大	-----	21
(2) 地域連携および人的ネットワーク構築	-----	22
(3) 地域ブランドの形成および確立	-----	22
(4) 総合的なコーディネート機能の強化	-----	24
(5) その他	-----	24
5 収益事業	-----	25

## 6 その他

(1) 中小企業向け支援制度説明会	-----	25
(2) 視察受入	-----	26
(3) 十勝地域町村訪問	-----	26
(4) 関係機関等の主催する会議等への参画・協力等	-----	27

## 7 組織力強化の取り組み

(1) 財団ホームページのリニューアル	-----	29
(2) 職員評価育成制度の導入	-----	30
(3) 職員研修の実施	-----	30

## 8 公益財団法人起業家支援財団との合併について

(1) 合併の背景と経緯	-----	31
(2) 合併の目的	-----	31
(3) 合併契約の効力発生日	-----	31
(4) 合併に伴って新たに実施する人材育成事業	-----	31
(5) 合併までの経過	-----	32

## 9 管理運営事項

(1) 理事会	-----	33
(2) 評議員会	-----	34
(3) あり方検討委員会	-----	35
(4) 資産運用委員会	-----	35
(5) 行政特別委員会	-----	36

## 1 概況

我が国の景気は概ね穏やかな回復基調にあるものの、地域経済を取り巻く環境は依然として厳しい状況にある。その中で、十勝地域は人口減少・少子高齢化による地域経済の縮小の影響を受けながらも、産学官金の緊密な連携により、事業創発・新産業育成・海外販路拡大・観光振興等に向けた積極的な取り組みが進められている。

このような背景の下、地域の産業活性化への貢献を目標に掲げている当財団は、十勝の未来につなぐ「価値」の創出と向上を図るため、「第2期産業活性化ビジョン」（平成29年度～33年度、以下「第2期ビジョン」という。）の取り組みを着実に進め、その成果を一層広げていくことが求められている。

第2期ビジョンの初年度となった平成29年度は、基本戦略およびマスタープランに基づき、財団の「強み」を活かした一体的な産業支援と地域連携の拡大・強化を推進し、「十勝における産業支援プラットフォーム」として、地域の産業活性化に取り組んだ。

食産業支援事業では、検査分析・技術相談等のほか、外国人向け加工食品の開発を支援するための嗜好性調査や、製餡副産物（煮汁）からビフィズス菌を増やすスタキオース（低分子オリゴ糖）の抽出技術開発等に取り組み、新商品開発や地域資源の有効活用等を支援した。また、技術人材の育成を図るため、地域のチーズ工房を会員とする「十勝圏ナチュラルチーズ品質管理研究会」等を開催するほか、地域企業や生産施設の衛生管理体制の整備やHACCPの取得促進等を図るため、地域の関係機関と共に開催する形でのセミナーを実施した。

ものづくり産業支援事業では、機械・電子分野における検査分析・技術相談等のほか、生産現場で活用可能な「ナット類トッピング装置」「インゲンマメゾウムシ寄生子実選別用光学選別装置」等の装置・機械開発に取り組んだ。また、技術人材の育成を図るため、3D-CAD利活用技術や溶接技術等を習得するためのセミナーを実施した。さらに、地域企業と共同開発した食品加工機械を国内外に広く普及するため、東京都で開催された「FOOMA JAPAN（国際食品工業展）」に出展し、海外展開に結び付く等の高い成果が得られた。

地域連携支援事業では、十勝産加工食品等の販路拡大支援を目的として、首都圏で開催された「FOODEX JAPAN（国際食品・飲料展）」に出展した。また、産学官交流会「ヒューマンネット十勝」の開催や、十勝ブランドの確立支援を実施した。さらに、起業家人材育成・事業創発を図るための支援プログラム「トカチコネクション」では、地域の関係機関と連携し、起業候補者の定期的なヒアリング等によりビジネスプランの構築・強化等を図ることで、事業化の加速を具体的に支援した。

その他、収益事業として、地域企業等からの申込みによる受託事業を受け入れ、地域ニーズに対応した技術開発等を実施した。また、組織力強化の取り組みの一環として、より効果的・積極的・広範囲な情報発信を図るため、オウンドメディアやSNS等を組み合わせる形で、財団ホームページを全面リニューアルした。

そして、平成30年4月1日には、地域産業の担い手の育成による起業・事業創発の促進について共通の方向性を有する「公益財団法人起業家支援財団」（神奈川県）と合併し、同財団の理念を受け継ぐ形で、新たに「事業創発支援事業」を開始することとなった。これにより、第2期ビジョンに掲げる「産業人材の実践的な育成=ひとつづくり」の取り組みを一層加速し、地域のさらなる産業活性化を図ろうとするものである。

## 2 食産業支援事業 【公益目的事業1】

### (1) 試験研究事業

#### ①共同研究等

地場農畜産物の高付加価値化や、食品の品質向上等を図るための試験研究を行った。

表1 (共同研究等のテーマ一覧)

テーマ	
1	諸外国人との嗜好性の相違の解析（平成29年度） ・連携先：帯広商工会議所 ・内容：アジア諸国の栄養嗜好の分析、世界各国の遺伝子情報による味覚感受性の解析、マレーシアにおける味覚試験の実施により、日本の食品は世界に受け入れられやすく、特に台湾、マレーシア、中国、韓国が親和性が高いことが推察されるとともに、マレーシア人は日本人よりうま味、酸味、苦味の感度が低いことが確認され、今後の外国人向け食品の開発に役立つ知見を得た。
2	小豆由来の多糖類に関する研究（平成28～29年度） ・共同研究者：十勝大福本舗株式会社 ・内容：製餡副産物である小豆煮汁に低分子オリゴ糖が多く含まれることを確認し、ヒトの消化酵素で消化されずに腸内のビフィズス菌増殖を促進する素材として有用であることが示唆された。回収技術についても検討し、精製が可能であることを確認した。
3	熟成方法の違いによる肉質評価試験（平成29年度） ・内容：UV照射による肉の熟成を検討し、豚挽肉において微生物増殖を抑制しながらうま味成分を増加できる可能性が示唆された。
4	チョウザメを原料とする加工品の開発（平成29～30年度） ・共同研究者：鹿追町、鹿追町チョウザメ研究会 ・内容：鹿追町で養殖しているチョウザメを原料としたキャビア・魚肉加工品の商品化を検討し、試作品のレシピ構築を進め、帯広市内の加工業者との連携により試作品の試食会とアンケート調査を実施した。引き続き商品化の検討を進める。
5	雑豆パウダーの栄養学的特徴を活かした栄養調整・補助食品の開発と栄養機能性の検証（平成29年度） ・共同研究者：帯広大谷短期大学、株式会社丸勝 ・内容：小豆の新たな需要拡大を目的に、小豆パウダーを配合したアスリート向け製品の開発に取り組んだ。ビスケットの試作検討および嗜好調査によって改善点を抽出するとともに、血糖値への影響を試験中。引き続き試作を行い、小豆（パウダー）の新たな利用価値について周知を行う。
6	パン製品の風味を向上させる新規酵母菌株の開発（平成29年度） ・共同研究者：国立大学法人帯広畜産大学、日本甜菜製糖株式会社 ・内容：パンの風味を向上する新規のパン酵母がパン中で生成する香氣成分を解析し、一般的なパン酵母とは異なる香氣プロファイルであることを実証した。
7	脂溶性機能成分の分析技術の妥当性確認と国産小麦への応用（平成29～30年度） ・共同研究者：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構） ・内容：小麦の脂溶性機能性成分であるオリザノール様物質について分析し、輸入小麦よりも国内産小麦に多く含まれる傾向を確認した。引き続き研究を行い、地場産小麦の高付加価値化に繋げる。

## ②外部資金を活用しての試験研究

地方独立行政法人北海道立総合研究機構（代表機関）および北海道とコンソーシアムを構成して、農林水産省「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業」を活用し、良食味の大豆品種育成に向けた成分分析および品質評価を行った。（継続中）

また、公的機関・団体より、地場産食材の高付加価値化等を目的とする調査研究事業を受託し、品質評価等の業務を行った。

表2（受託事業の内容一覧）

委託者		事業・業務名および内容
1	農林水産省	農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業（平成26～30年度） 「北海道産大豆の高品質・安定供給を目指した豆腐・納豆用品種の開発」 <道総研農業技術研究本部、北海道とのコンソーシアムにより実施> ・内容[当財団の分担業務]：有望系統の食味関連成分等の分析・評価
2	公益財団法人日本豆類協会	餡粒子の消化に関する調査研究（平成28～29年度） ・内容：雑豆類の加工品における機能性の検討
3	地方独立行政法人北海道立総合研究機構（道総研）	十勝資源を活かした地域食シーズ開発（平成29年度） ・内容：十勝産農産物を活用した新規商品開発、MA輸送技術の普及拡大
4	農研機構	革新的技術開発・緊急展開事業（うち経営体強化プロジェクト） 「国産スターを用いたブランドチーズ製造技術の開発」 (平成29～31年度) <農研機構、道内研究機関等とのコンソーシアムにより実施> ・内容[当財団の分担業務]： うま味増強に貢献する北海道乳酸菌株の分離・選定、有効性評価
5	国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）	小豆水溶性多糖類を活用した沈殿防止剤代替品の開発検討 (平成29～30年度) ・内容：小豆製餡煮汁からの水溶性多糖類の精製条件の検討、および乳性飲料の天然系沈殿防止剤の開発

## (2) 技術相談・指導事業

当財団が有する技術やネットワークを活用し食品の衛生管理や新製品開発、課題解決やニーズ等に対応した食品加工に関する技術支援等を行った。

### ①企業等相談・訪問対応

表3 (食品加工相談件数)

年度	相談件数	受付方法			原料区分			
		面接	電話	E-mail等	農産物	畜産物	水産物	その他
29	533	234	186	113	340	107	17	69
28	549	225	240	84	329	131	18	71
27	599	255	256	88	391	140	21	47

※主な相談内容

- 1 加工食品の製造条件の設定、成分分析、物性測定の実施方法
- 2 賞味期限設定に必要な客観的試験の実施方法およびその評価 など

表4 (市町村別相談件数)

帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
212	32	8	16	2	22	16	48	9	5
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	その他
13	2	29	13	8	17	23	2	2	54

表5 (現地技術指導件数)

年度	指導件数	原料区分			
		農産物	畜産物	水産物	その他
29	102	60	23	3	16
28	104	63	25	5	11
27	123	72	38	8	5

※主な指導内容

- 1 製造施設および工程のチェックによる衛生管理上の原因究明
- 2 加工食品の安定製造に向けた条件の検討および工程の確立

表6 (市町村別現地技術指導件数)

帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
51	5	3	2	2	4	2	9	2	1
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	その他
3	1	8	1	1	2	3	1	1	0

## ②ものづくりワンストップ無料相談会

表 7 (開催実績)

開催日	相談対応職員	共催
H29. 6. 20 H29. 9. 26 H29. 12. 12 H30. 3. 13	四宮 紀之	帯広信用金庫・帯広畜産大学・とかち財団

## ③講師・アドバイザー派遣

関係機関等からの要請に応じ、食品加工技術センターの職員（研究員等）を専門講師やアドバイザーとして派遣した。

表 8 (講師・アドバイザー派遣実績)

区分	派遣日	事業・セミナー	派遣地	派遣職員
講師	H29. 5. 27	足寄消費者協会 平成 29 年度総会基調講演「食の安全について」	足寄町	川原美香
講師	H29. 6. 7	北海道立農業大学校 畜産経営学科講義 「農畜産加工起業概論」	本別町	佐々木香子
講師	H29. 6. 8	北海道立農業大学校 畑作園芸経営学科講義 「農畜産加工起業概論」	本別町	佐々木香子
講師	H29. 10. 10	北海道立農業大学校 畜産経営学科講義 「農畜産加工流通論」	本別町	佐々木香子
講師	H29. 11. 7	道総研&よろず支援拠点 地域セミナー in 帯広 「とかち財団の概要と取り組み」	帯広市	川原美香
講師	H30. 1. 23	北海道中小企業家同友会とかち支部 とかち地サイダー研究会 「炭酸飲料の規格および品質について」	帯広市	川原美香
講師	H30. 2. 6	道総研食品加工研究センター 平成 29 年度食品加工技術講習会 「チーズ・発酵乳製造と乳酸菌 ／チーズ工房の衛生管理」	江別市	川原美香
アドバイザー	H29. 8. 19 ほか 3 回	一般社団法人アニマルウェルフェア畜産協会 「アニマルウェルフェア食品加工事業所認定 検討委員会」	旭川市 帯広市 ほか	葛西大介

④技術指導により商品化に繋がった支援成果（一例）



「十勝の香りがするうどん」  
株式会社小田庵（幕別町）



「トム缶シリーズ」  
株式会社ドリームヒル・トムラウシ  
(新得町)



「乳蔵 北海道アイスクリーム」  
株式会社江戸屋 ノース・ピー事業部  
(帯広市)



「ベコボッコ。」  
十勝製菓株式会社（上士幌町）

### (3) 情報提供事業（情報提供・成果普及・P R等）

研究開発事例や技術相談対応など技術支援成果を発表するとともに、ホームページ等により技術情報や事業内容・活動実績の積極的なP Rを行った。

表 9（成果発表会の開催実績）

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
H30. 3. 2	十勝産業振興センター	とかち財団「平成 29 年度成果発表会」 【試験研究に係る成果発表、試食展示等】 ・小豆由来の多糖類に関する研究 ・光を利用した肉加工品熟成法の検討 ・外国人向け加工食品開発支援	65



平成 29 年度成果発表会 開催状況

表 10（関係機関等主催事業等でのP R実績）

開催日	開催場所	開催内容等
H29. 4. 26	東京ドームホテル札幌	道総研食品加工研究センター成果発表会における取組発表 ・ポスター発表「帯広市水道水による加工食品の客観的評価」
H29. 6. 27	帯広信用金庫 中央支店	共同研究成果発表会における研究発表 ・口頭発表「十勝産加工食品の賞味期限延長による販路拡大に 向けた包装資材の類型化とその有効性に関する研究」 発表者：事業部長 葛西 大介

表 11（ホームページの公開・運営状況）

区分	公開内容
食品加工技術センター	施設概要、業務内容、研究成果、設備機器一覧、各種書式のダウンロード等
十勝の食材データベース	十勝地域の業務用食材の取扱い企業の紹介

表 12 (専門誌への寄稿実績)

掲載時期	掲載誌等の名称、寄稿内容等
平成 29 年 6 月	「平成 28 年度 十勝農学談話会誌」第 58 号 発行者：十勝農学談話会 寄稿内容：「これから食品衛生と地域支援」 事業部ものづくり支援課 食品グループ 課長 川原 美香 「小豆煮汁由来の色素成分を活用した製品の開発」 事業部ものづくり支援課 食品グループ 研究主査 佐々木 香子
平成 29 年 10 月	「農耕と園藝」2017 年 11 月号 発行者：株式会社誠文堂新光社 寄稿内容：「エダマメの冷凍加工技術と品質評価に関する研究」 事業部ものづくり支援課 食品グループ 課長 川原 美香
平成 29 年 11 月	「月間フードケミカル」2017 年 12 月号 発行者：株式会社食品化学新聞社 掲載内容：特集 2 「注目の地域ブランド 一北海道編一」 「北海道ブランドを支える研究機関・企業」に、食品加工技術センターの取り組みが掲載される
平成 30 年 3 月	「グリーンテクノ情報」Vol. 13 No. 4 発行者：NPO 法人グリーンテクノバンク 寄稿内容：「ベタイン添加食パン生地の製パン性改善」 事業部長 葛西 大介

#### (4) 人材養成事業

衛生管理、新事業展開等に関する専門性の高いセミナー・講演会を開催したほか、技術者の資質向上を図るために研修生を受け入れ、技術習得を支援した。

##### ①微生物検査に関する実技講習会

地域食品産業の技術力向上・人材育成を支援するため、食品の品質・衛生管理に必要な微生物検査技術の習得を目的とした、少数限定の実技講習会を開催した。

(会場：食品加工技術センター)

表 13 (講習会開催実績)

開催日	テーマ・実施内容等	受講者数
H29. 5. 24 H29. 5. 26	「実践、微生物検査の基礎」(初級編：一般生菌数、大腸菌群) 講師：事業部ものづくり支援課 食品グループ 課長 川原 美香	8
H29. 6. 6 H29. 6. 8	「実践、微生物検査の基礎」(中級編：黄色ブドウ球菌、サルモネラ) 講師：事業部ものづくり支援課 食品グループ 課長 川原 美香	8

## ②十勝圏ナチュラルチーズ品質管理研究会

十勝地域のナチュラルチーズ業界における品質管理体制の強化を図るため、チーズ製造および品質管理に関する知識・情報等の習得や意見交換を目的とする研究会を開催した。  
(会場：食品加工技術センター)

表 14 (研究会開催実績)

開催日	テーマ・実施内容等	受講者数
H29. 10. 13	「チーズの官能評価とパネルの育成」 ①「パネルの選定方法」(五味の識別試験の実施) ②「チーズの官能評価の実際～十勝品質事業協同組合の取組～」 講師：十勝品質事業協同組合 熟成士 田村 佳生 氏	12
H30. 2. 22	「乳の官能評価セミナー2018 in 帯広」(中央酪農会議との共催) ① 5味識別テスト ② 異常風味識別テスト ③ 濃度差識別テスト ④ 3点識別試行テスト 講師：全国乳業協同組合連合会 技術コンサルタント 大西 義則 氏	21

## ③農協施設の安全・安心強化に向けたH A C C P研修

農協施設の高度な安全・安心の取り組みを支援するため、JAネットワーク十勝農産技術対策協議会等との共催により、H A C C Pの基礎等の習得を目的とする研修会を開催した。(会場：十勝農業協同組合連合会 農産化学研究所)

表 15 (研修会開催実績)

開催日	テーマ・実施内容等	受講者数
H29. 6. 22	「H A C C Pの基礎、北海道H A C C Pについて」 講師：北海道帯広保健所 生活衛生課 高橋 和志 氏 ほか	49
H29. 11. 15	「H A C C Pの基礎確認」 講師：北海道帯広保健所 生活衛生課 渡邊 昌彦 氏	9
H29. 11. 22	・十勝農業協同組合連合会 シードセンター見学 (危害分析モデル) ・ワークショップ形式による危害分析	10
H29. 11. 29	・危害分析の発表および討論 ・H A C C Pプランの作成事例 講師：事業部ものづくり支援課 食品グループ 課長 川原 美香 ・H A C C P評価事業について 講師：北海道帯広保健所 生活衛生課 渡邊 昌彦 氏	10

#### ④HACCP等の導入研修会

地域食品産業の技術力向上・人材育成を支援するため、NPO法人HACCP実践研究会主催事業に協賛する形で、食品製造業者等に必要なHACCP導入のための研修会を開催した。

表16（研修会開催実績）

開催日	テーマ・実施内容等	受講者数
H29.10.12	「HACCP・食品衛生についての現状」（講義） 「一般的衛生管理とHACCPの関係」（グループワーキング）など 講師：NPO法人HACCP実践研究会 事務局長 宇井 加美 氏 主幹研究員 野村 尚良 氏 北海道渡島保健所 技術主幹 通山 志保 氏	36

#### ⑤技術研修生の受け入れ

地域食品産業の技術力向上・人材育成を支援するため、企業等からの技術研修生の受け入れ等に取り組み、食品加工技術者の技術習得を促進した。

表17（研修生受け入れ実績）

受入期間	研修内容	受入人数
H29.5.31 H29.6.2	微生物検査技術の習得（一般生菌数、大腸菌群）	1

#### （5）技術交流事業

十勝地域で食品加工や商品開発、品質管理に携わる経営者や技術者間の交流を促進するとともに技術課題解決や新製品・新技術開発を図るための研究会を開催した。

また、当財団が実施・支援する地域連携支援事業に研究員が参加し、技術情報提供のほか、加工食品の評価・検査等を実施した。

表18（技術者の会開催実績）

開催日	開催内容	開催場所	参加者数
H29.12.7	小麦麹乳酸発酵液の用途について	食品加工技術センター	5
H30.3.22	義務化された栄養成分表示の概要と表示例について	ゲンキッチン（本別町）	9

表 19 (財団主催・共催事業への研究員の参加実績)

実施・支援事業	開催日	開催場所	内容
十勝ブランド 認証機構	H29. 6. 6 ほか 6回	十勝産業振興センターほか	認証品に係る官能検査 (一般検査、専門家検査)
	H30. 1. 20	とかち館	十勝ブランド大試食会 2018
ヒューマン ネット十勝	H29. 7. 6	帯広畜産大学	経営者・技術者間の交流促進および 技術情報の提供等
	H29. 10. 18	大樹町	
	H30. 3. 27	中札内村、十勝産業振興センター	
小規模加工食品 研究会	H30. 2. 22	北海道中小企業家同友会 とかち支部 (共催機関)	第2回食品技術セミナーでの 講師対応 「続・今さら聞けない食品の 分類と基礎知識 ～食品を長持ちさせるために～」 講師：事業部ものづくり支援課 食品グループ 研究主査 四宮 紀之

#### (6) 検査分析事業

企業等の依頼により食品成分や微生物の検査分析を実施し、公設試験研究機関として成績書を発行した。

表 20 (試験分析件数)

年度	試験分析件数 実績	内訳		
		依頼試験	依頼分析	謄本発行
29	98	82	15	1
28	37	25	12	0
27	58	48	10	0

※主な依頼試験項目：一般生菌数、大腸菌群、耐熱性菌数、真菌数

※主な依頼分析項目：灰分、水分、タンパク質、脂質、無機質、食物繊維、糖類 等

表 21 (市町村別試験分析件数)

帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
13	43	0	12	0	4	0	14	0	0
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	その他
0	0	7	0	5	0	0	0	0	0

### (7) 指定管理業務

地域における食品加工技術の高度化を促進し、北海道の食品加工業の発展に寄与することを目的として設置された北海道立十勝圏地域食品加工技術センターの指定管理者として、施設の適切な保守管理を行い、施設等の情報提供や設備機器の利用促進活動を実施し、利用者へのサービス向上を図った。

表 22 (施設利用件数)

年度	利用件数	内訳	
		機器等	研修室
29	499	497	2
28	365	358	7
27	405	398	7

表 23 (施設利用時間)

年度	利用時間	内訳	
		機器等	研修室
29	1,530	1,525	5
28	1,169	1,128	41
27	989	945	44

表 24 (市町村別施設利用件数)

帶広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
266	29	0	63	3	0	2	66	0	0
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	その他
18	9	4	36	0	0	1	0	0	2

### 3 ものづくり産業支援事業 【公益目的事業2】

#### (1) 試験研究事業

企業ニーズに対応したテーマによる研究開発を実施するとともに、外部資金を活用し、地域企業等との連携・共同による製品開発に取り組んだ。

##### ①共同研究等

機械・装置開発に関連する地域ニーズ・企業ニーズに基づく試験研究を行った。

表 25 (共同研究等のテーマ一覧)

テーマ	
1	<p>インゲンマメゾウムシ寄生子実選別用光学選別装置の開発（平成 28～30 年度）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・共同研究者：株式会社安西製作所北海道支店（協力機関：道総研十勝農業試験場）</li><li>・内容：インゲンマメゾウムシ寄生子実を透過撮影するための光源、およびラインスキャンカメラで撮像するための撮像治具を試作し、透過画像の撮影を試行した。また、透過画像を使用して寄生の有無を判定するための画像処理アルゴリズムを開発した。平成 30 年度に、画像処理を高速に実施する演算処理ハードウェアの開発、およびこれを搭載して寄生子実を選別除去する小型原理試作機を開発し、実用化に目途を付ける。</li></ul>
2	<p>中規模事業所向けナッツ類トッピング装置の開発と販路拡大（平成 29 年度）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・共同研究者：有限会社横山鉄工</li><li>・内容：ナッツ類など粒状の原料のトッピング作業を自動化するための製菓用機械装置を開発した。また、これを国内最大の食品加工機械の展示会である「FOOMA JAPAN 2017」（国際食品工業展）に出展し、販路拡大のためのデモンストレーション展示を実施した。その結果、関西地方の菓子メーカーから具体的な引き合いがあったほか、大手および中堅の菓子メーカーや食品メーカーなど複数社から、本機を導入したい工程についての具体的な情報を収集できた。</li></ul>  <p>ナッツ類自動トッピング装置「Toppin'（トッピング）」</p>
3	<p>血乳検査装置の事業化（平成 29 年度）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・共同研究者：株式会社電制</li><li>・内容：分光計測により生乳中の血液混入量を判定可能な小型低コストの計測装置を試作した。また、農業団体の協力を得て入手した実血乳サンプルを使用して、血液検出確度を検証した。平成 30 年度に、農業団体等の協力を得て実用性や事業成立性の評価を実施するとともに、展示会出展等を通して市場ニーズの調査を実施する予定としている。</li></ul>

テーマ	
4	<p>I SOBUSH 対応トラクター用のリモコン装置の開発（平成 29～30 年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>共同研究者：株式会社フクザワ・オーダー農機</li> <li>内容：I SOBUSH を搭載した新型トラクターに対応した、作業機側から収穫作業の状況に合わせてトラクターの速度を制御するコントローラ装置を開発している。平成 29 年度は、I SOBUSH 上を流れる通信メッセージを解析するためのツール（CANoe）および認証機関（AEF）が提供する認証テストツールを導入整備した。また、リモコン装置の装着対象となる新型トラクターを借用し、I SOBUSH 通信コマンドの実装状況を調査した。平成 30 年度に、トラクター搭載用の電子制御装置（ECU）と I SOBUSH 通信用組込みソフトウェアを開発し、商品化を図る。</li> </ul> <p>（I SOBUSH：農業機械用通信の国際規格）</p>

### ②外部資金を活用しての試験研究

公的機関・団体より、農業生産現場における自動化・省力化の促進等を目的とする試験研究事業の助成を受け、装置開発等の業務を行った。（継続中）

表 26（活用した助成金の一覧）

助成事業者	事業名・テーマ名
（公財）日本豆類協会	豆類振興事業助成金（試験研究）（平成 28～30 年度） 「インゲンマメゾウムシ寄生子実選別用光学選別装置の開発」
（公財）北海道中小企業総合支援センター	北海道中小企業応援ファンド事業助成金（平成 29～30 年度） 「I SOBUSH 対応トラクター用のリモコン装置の開発」
全国中小企業団体中央会	ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業助成金 （平成 29～30 年度） 「道内ものづくり中小企業の連携による農業機械の高機能化と電動化」 (連携事業者：株式会社フクザワ・オーダー農機、 三陽商事株式会社、株式会社カムイ電子)

### ③ものづくり支援成果の受賞実績

当財団が開発を支援し、推薦団体となって応募した「立ち植え式長いも植付機」が、「第 15 回新機械振興賞」の機械振興協会会長賞を受賞した。（十勝地域の企業として初選出）

表 27（受賞実績）

賞の名称	受賞業績	受賞企業
「第 15 回新機械振興賞」 機械振興協会会長賞 (一般社団法人機械振興協会)	作業者負担を軽減した 立ち植え式長いも植付機	株式会社フクザワ・オーダー農機 三陽商事株式会社

## (2) 技術指導・企業相談事業

当財団が有する技術やネットワークを活用し、技術提供や技術開発、コーディネート等企業等の問題解決やニーズ等に対応したものづくり支援を行った。

### ①企業等相談対応

表 28 (企業相談件数)

年度	相談件数	相談区分					
		技術関係	知財関係	受発注関係	創業関係	経営関係	その他
29	554	267	22	48	35	36	146
28	436	265	41	24	2	7	97
27	313	174	21	17	1	5	95

表 29 (市町村別相談件数)

帶広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
268	37	5	7	1	3	4	79	4	1
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	その他
8	2	10	1	1	11	5	0	6	101

### ②外部資金を活用しての技術支援

北海道の「参入促進支援事業」補助金を活用し、道内産業支援機関との連携により、地域のものづくり企業のニーズに対応した技術開発・課題解決等の支援による食関連機械分野への参入促進や人材育成等に取り組んだ。

表 30 (参入促進支援事業 地域マネージメント事業)

補助元	事業名
北海道	「参入促進支援事業（地域のものづくり技術力向上）」 内容：地域のものづくり企業のニーズに対応した技術開発・課題解決等の支援による、食関連機械分野への参入促進および雇用創出 期間：平成 28～30 年度

### ③ものづくりワンストップ無料相談会

表 31 (開催実績)

開催日	相談対応職員	共催
H29. 6. 20 H29. 9. 26 H29. 12. 12 H30. 3. 13	四宮 紀之	帯広信用金庫・帯広畜産大学・とかち財団

### (3) 情報提供事業

研究開発事例や技術相談対応など技術支援成果を発表するとともに、ホームページ等により技術情報や事業内容・活動実績の積極的なPRを行った。

表 32 (成果発表会の開催実績)

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
H30. 3. 2	十勝産業振興センター	とかち財団「平成 29 年度成果発表会」 【試験研究に係る成果発表、展示等】 ・画像処置技術を応用した車両洗浄装置 (株式会社北土開発との共同発表)	65

表 33 (財団共催、関係機関等主催事業等でのPR実績)

開催日	開催場所	開催内容等
H29. 10. 25	とかちプラザ	「スクラム十勝シンポジウム 2017」における研究発表(当財団共催) ・口頭発表「立植式長いもプランターの畝追従装置の開発」 発表者：事業部ものづくり支援課 機械・電子グループ 研究員 松原 慎吾
H29. 12. 5	道総研本部 北海道総合研究 プラザ (札幌市)	「産業技術連携会議 北海道地域部会」における研究発表 ・口頭発表「立植式長いもプランターの畝追従装置の開発」 発表者：事業部ものづくり支援課 機械・電子グループ 研究員 松原 慎吾

表 34 (ホームページの公開・運営等の状況)

区分	公開内容
十勝産業振興センター	施設概要、業務内容、研究成果、設備機器一覧、各種書式のダウンロード等
メールマガジン配信	十勝産業振興センターだより第 70 号～第 74 号を道内 853 件配信

表 35 (専門誌への寄稿実績)

掲載時期	掲載誌等の名称、寄稿内容等
平成 29 年 6 月	「グリーンテクノ情報」Vol. 13 No. 1 発行者：N P O 法人グリーンテクノバンク 寄稿内容：「スマート農業実現事例 ～クラウドと人工知能による牛の飼養管理システムの開発～」 事業部地域連携支援課 主査 梅沢 晃

#### (4) 人材養成事業

技術者の資質向上や機械製品開発ツールの利活用促進等を図るため、3次元CADや3Dプリンタに関する技術講習会を開催した。また、道内の産業支援機関との共催により、溶接に関する技術講習会を開催した。あわせて、マイコン内蔵周辺機器の理解と応用プログラミング、および2次元CADの操作技能習得を目的としたオンデマンド型の講習会を開催した。

##### ① 3次元CAD講習会

地域のものづくり産業の技術力向上・人材育成を支援し、機械製品開発ツールの利活用促進等を図るため、3次元CADおよび3Dプリンタの操作技術の習得を目的とした、少數限定の実技講習会を開催した。(会場：十勝産業振興センター)

表 36 (講習会開催実績)

開催期間	テーマ等	受講者数
H29.11.14 ～H30.2.13 (全12回)	「3次元CAD講習会 応用編～応用モデリングと構造解析入門～」 講師：事業部ものづくり支援課 機械・電子グループ 研究員 西條 大輔	5
H29.11.29 ～H30.2.28 (全13回)	「3次元CAD講習会 導入編 ～SolidWorks2010と3Dプリンタを使ってみよう～」 講師：事業部ものづくり支援課 機械・電子グループ 研究員 西條 大輔	5

##### ② 溶接講習会

地域のものづくり産業の技術力向上・人材育成を支援するため、公益財団法人北海道科学技術総合振興センター(ノーステック財団)との共催により、製造における溶接技術の習得を目的とした、少數限定の実技講習会を開催した。(会場：十勝産業振興センター)

表 37 (講習会開催実績)

開催期間	テーマ・実施内容等	受講者数
H29.10.23 ～H29.11.16 (全8回)	[学科] 炭酸ガス半自動アーク溶接法の特性と電流調整等操作方法 [実技] すみ肉溶接技術、課題演習等 講師：根本鋼鐵工房 代表 根本 邦輝 氏	6

### ③オンデマンド型技術セミナー

地域のものづくり産業の技術力向上・人材育成を支援するため、2次元CADやマイコンの操作技術の習得を目的とした、企業ニーズに特化した内容で開催するオンデマンド型の実技講習会を開催している。(会場：十勝産業振興センター)

表 38 (講習会開催実績)

開催期間	テーマ等	受講者数
H29.4.5 ～H29.4.6 (全2回)	オンデマンド型技術セミナー「2次元CAD」 講師：事業部ものづくり支援課 機械・電子グループ 研究員 西條 大輔	2
前年度より 継続中 (月2回程度)	オンデマンド型技術セミナー「マイコン」 講師：事業部ものづくり支援課 機械・電子グループ 研究員 松原 慎吾	2

### (5) 検査分析事業

企業等から鉄筋やコンクリートの強度試験やパークゴルフ用品等の試験依頼を受け、公的な試験成績証明書を発行するとともに、企業等の製品開発や品質管理等を行うために設備機器の利用促進を図った。

表 39 (検査分析件数)

年度	検査分析件数	内訳		
		引張強度試験	圧縮試験	パークゴルフ用品
29	511	221	90	200
28	381	166	40	175
27	413	216	0	197

表 40 (設備機器利用件数等)

年度	利用件数	利用時間
29	195	914
28	208	4,538
27	182	1,448

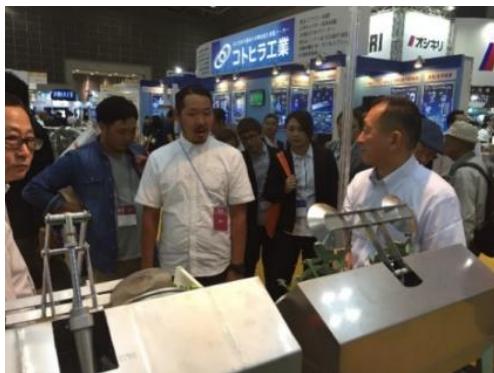
## (6) 産学連携事業

展示会出展等によるものづくりを中心とした企業支援成果の紹介・普及や、各種委員会への参加等の活動を行った。

### ①展示会への出展

表 41 (展示会への参加実績)

開催日	開催場所	開催内容
H29. 6. 13 ～H29. 6. 16	東京ビッグサイト	FOOMA JAPAN 2017 (2017 国際食品工業展) ・共同出展者：有限会社横山鉄工 株式会社フクザワ・オーダー農機
H29. 11. 9 ～H29. 11. 10	アクセスサッポロ	ビジネスEXPO「第31回 北海道 技術・ビジネス交流会」



FOOMA JAPAN 2017 出展状況 (プロッコリーカッター、バウムクーヘンオーブン)

### ②委員会等への参加

表 42 (委員会等への参加実績)

開催日	開催場所	開催内容
H29. 9. 28	北海道ビジネスサポートセンター	北海道インキュベーション・マネジメント連携促進会 運営委員会

## (7) 施設管理、会議室等利用提供

十勝産業振興センターの利用促進を図ったほか、機械製品開発ツール（3Dプリンタ、CAEツール等）の利用促進・保守管理業務を行った。

### ①機械製品開発ツールの利用促進・保守管理等

表 43（十勝地域機械製品開発ツール普及促進事業）

委託者	内容	ツール利用件数
帯広市	3Dプリンタ・CAEツール等の利活用促進・保守管理等	21

### ②会議室等利用実績

表 44（会議室等利用件数）

年度	利用件数	内訳		
		大会議室	中会議室	共同研究室 <sup>(※)</sup>
29	481	237	211	33
28	586	244	203	139
27	617	253	180	184

表 45（会議室等利用人数）

年度	利用人数	内訳		
		大会議室	中会議室	共同研究室 <sup>(※)</sup>
29	19,081	13,320	5,552	209
28	22,182	13,817	7,109	1,256
27	19,945	13,933	4,738	1,274

※十勝産業振興センター共同研究室は、帯広地域雇用創出促進協議会の入居（平成29年7月1日より財産使用を許可）に伴い、一般への利用提供は当面の間休止としている。

上記は平成29年4月1日から6月30日までの利用実績である。

## 4 地域連携支援事業 【公益目的事業3】

### (1) 開発商品等のPRおよび販路拡大

十勝産の農畜水産物並びに加工品の販路拡大を目的とした販売PR事業として、展示会に出展するほか、イベント等への参加により、事業成果や地域の加工食品を積極的にPRした。

表 46 (展示会出展事業)

展示会名等	期間	出展者数
FOOMA JAPAN 2017 (2017国際食品工業展) [公2事業と連動]	H29.6.13～H29.6.16	2社
FOODEX JAPAN 2018 (第43回国際食品・飲料展)	H30.3.6～H30.3.9	20社・団体



FOODEX JAPAN 2018 北海道十勝物産館 出展状況

表 47 (首都圏・札幌圏での事業PR実績)

開催日・期間	内容
H29.10.21～H29.10.22	「とかち元気フェア」への出展 主催：北海道開発協会ほか 会場：札幌駅前通地下歩行空間（札幌市）
H29.11.12	「アルプスロボットコンテスト」十勝ブースへの出展 主催：株式会社アルプス技研（社員向けイベント） 会場：同社事務管理・総合研修センター（神奈川県相模原市）

表 48 (海外での事業PR実績)

開催日・期間	内容
H29.9.15～H29.9.22	「タイ・チェンマイ UNSEEN LANNA フェア派遣への参加」 主催：帯広商工会議所（JICA草の根技術協力事業） 内容：講演（地域ブランド）、展示会での十勝産品PR 等

## (2) 地域連携および人的ネットワーク構築

地域の人脈基盤を強化し、地域産業の活性化を図るため、産業情報の発信および企業・関係機関等の交流機会の拡大を目的とする産学官交流会を開催した。

表 49 (産学官交流会・ヒューマンネット十勝開催状況)

回数	開催日	開催場所	テーマ	参加人数
第 62 回	H29. 7. 6	帯広畜産大学	「畜大」	81
第 63 回	H29. 10. 18	インターミテラテクノロジズ㈱ ほか	「大樹町」	62
第 64 回	H30. 3. 27	中札内村農業協同組合 ほか	「枝豆」	65



ヒューマンネット十勝 開催状況 (左: 第 62 回、右: 第 63 回)

## (3) 地域ブランドの形成および確立

十勝型産業クラスターの形成を図るため、企業・関係機関等の交流機会の拡大に努めたほか、十勝ブランド認証機構の事務局として、十勝ブランド確立に向けた各種事業を行った。

表 50 (十勝ブランド認証状況)

[平成 30 年 3 月末日現在]

品目	ナチュラルチーズ	パン	菓子	乳製品	合計
工房数	5	10	9	9	29 工房 (4 工房重複)
商品数	33	27	21	22	103 品

表 51 (十勝ブランド 主な活動状況)

開催日・期間	内容
H29. 6. 3	平成 29 年度定期総会の開催
H29. 6. 6～H29. 6. 23	認証官能検査の実施 (一般・専門家)
H29. 7. 10～	平成 29 年度版パンフレットの配布開始
H29. 7. 15～H29. 11. 5	十勝ブランドスタンプラリーの開催
H29. 9. 2～H29. 9. 3	「とかちマルシェ」出展 (11 工房)
H29. 9. 29	関係機関に対するチーズ斡旋販売 (4 工房)
H29. 11. 20	幹事会の開催 (スタンプラリー抽選会等)
H29. 12. 5～H29. 12. 21	認証官能検査の実施 (一般・専門家、全 3 回)
H29. 12. 7	4 部会合同部会の開催 (大試食会開催協議等)
H30. 1. 16	4 部会合同部会の開催 (大試食会開催準備等)
H30. 1. 20	「十勝ブランド大試食会」の開催



「十勝ブランド大試食会」開催状況

表 52 (講師派遣実績)

開催日・期間	内容
H30. 2. 9	「地域消費者問題懇談会」兼「地産地消セミナー」講演 主催：帯広消費者協会 内容：地産地消と十勝ブランド 派遣者：地域連携支援課 主査 清水 友紀子

#### (4) 総合的なコーディネート機能の強化

帯広市ほか10町村からの負担金を受け、十勝・イノベーション・エコシステム推進事業の一環として、地域の関係機関等と連携し、「トカチコネクション」構築に関する事業に取り組んだ。

##### 「トカチコネクション」構築事業（平成28年度～）

創業・起業家人材の創出と事業化の加速により、地域の事業創発を図るため、地域支援機関（帯広市・北洋銀行・北海道銀行・帯広信用金庫・帯広商工会議所・北海道中小企業家同友会とかち支部）との連携により、創業候補者の定期的なヒアリング等を実施し、その事業化を支援する。

平成29年度は具体的な事業化支援として、ビジネスプランの構築・強化、事業化に際しての不足要素の補強支援等を実施した。また、当財団成果発表会（平成30年3月2日）において、当該事業の取り組みを発表した。



表53（トカチコネクション）

開催回数	トカチコネクション「ラボ」ヒアリング等実施状況	案件数
第1クール (3回)	平成29年5月15日、6月21日、7月14日 (その他、9月20～21日に個別支援を実施)	2
第2クール (3回)	平成29年8月9日、9月7日、10月12日 (その他、平成30年2月6日に個別支援を実施)	2

#### (5) その他

フジッコ株式会社との共同により、以下のプロジェクトを実施した。（継続中）

表54（共同実施事業）

プロジェクトの内容
フジッコ株式会社とフードバレーとかち推進協議会の包括連携協定に基づく 「大豆ピニトールシロップの生産および活用技術の開発」プロジェクトの共同実施 実施期間：平成27～31年度（5年間） 連携機関：中札内村農業協同組合 目的：十勝産農産物（大豆）の有効活用および高付加価値化 内容：原料となる大豆茎葉の回収、および大豆ピニトール抽出・シロップ生産試験 今後の事業展開の検討 等

## 5 収益事業

企業等からの申し込みによる受託事業を行った。

表 55 (主な受託事業一覧)

内容	
1	農産物運搬車両洗浄装置のセンシング機能の開発
2	水道水味覚評価業務
3	バウムクーヘン小割機の制御装置の開発



センシング機能を搭載した農産物運搬車両洗浄装置の導入状況

## 6 その他

北海道経済産業局との共催による中小企業向け支援制度説明会を実施するほか、地域内外からの視察を受入した。

また、地域の町村訪問を継続するとともに、関係機関等の主催する会議・事業・委員会等に参画・協力した。

### (1) 中小企業向け支援制度説明会

表 56 (開催実績)

開催日	内容	共催
H30.3.8	ものづくり・商業・サービス経営力向上支援事業説明会	経済産業省 北海道経済産業局

## (2) 観察受入

表 57 (観察団体、内容等)

受入日		団体名等	内容	人数
1	H29. 6. 9	芽室町農業協同組合女性部	食品加工技術センターの取組について	26
2	H29. 8. 1	JICA研修員	地域ブランドの取組について	22
3	H29. 8. 31	タイ・チェンマイ県	地域ブランドの取組について	30
4	H29. 9. 25	帯広畜産大学	食品加工技術センターの取組について	51
5	H29. 9. 25	帯広工業高等学校	十勝産業振興センターの取組について	42
6	H29. 10. 4	JICA研修員	とかち財団の取組について	16
7	H29. 10. 11	JICA研修員	とかち財団の取組について	10
8	H29. 10. 18	JICA研修員	とかち財団の取組について	11
9	H29. 11. 15	JICA研修員	とかち財団の取組について	11
10	H29. 12. 15	JICA研修員	とかち財団の取組について	11
11	H30. 3. 13	JICA研修員	とかち財団の取組について	10
合計 11 件				240

## (3) 十勝地域町村訪問

表 58 (町村訪問実績)

年月日	訪問先
H29. 4. 28	芽室町：芽室町役場、芽室町商工会、JA芽室町、金融機関 2
	清水町：清水町役場、清水町商工会、JA十勝清水町、金融機関 3
H29. 5. 9	新得町：新得町役場、新得町商工会、JA新得町、金融機関 1
	鹿追町：鹿追町役場、鹿追町商工会、JA鹿追町、金融機関 1
	音更町：JA木野、金融機関 3
H29. 5. 10	足寄町：足寄町役場、足寄町商工会、JA足寄町、金融機関 2
	陸別町：陸別町役場、陸別町商工会、JA陸別町、金融機関 1
H29. 5. 15	幕別町：JA忠類
	大樹町：大樹町役場、大樹町商工会、JA大樹町、金融機関 1
	広尾町：広尾町役場、広尾町商工会、JA広尾町、金融機関 2

年月日	訪問先
H29.5.17	幕別町：幕別町役場、幕別町商工会、JA幕別町、金融機関1
	豊頃町：豊頃町役場、豊頃町商工会、JA豊頃町、金融機関1
	浦幌町：浦幌町役場、浦幌町商工会、JA浦幌町、金融機関1
	中札内村：中札内村役場、中札内村商工会、JA中札内村、金融機関1
	更別村：更別村役場、更別村商工会、JA更別村
H29.5.22	幕別町：JA札内、金融機関1
H29.5.23	音更町：音更町役場、音更町商工会、JA音更町、金融機関1
	士幌町：士幌町役場、士幌町商工会、JA士幌町、金融機関1
	上士幌町：上士幌町役場、上士幌町商工会、JA上士幌町、金融機関1
H29.5.25	池田町：池田町役場、池田町商工会、JA十勝池田町、JA十勝高島、金融機関1
	本別町：本別町役場、本別町商工会、JA本別町、金融機関2
H29.5.26	帶広市：JA 帯広大正
	中札内村：中札内村役場、中札内村商工会、JA 中札内村、金融機関1
	更別村：更別村役場、更別村商工会、JA 更別村

#### （4）関係機関等の主催する会議等への参画・協力等

表 59（地域機関主催会議等への主な参画・協力実績）

主催機関・事務局等	会議等の名称	備考
フードバレーとかち推進協議会（帯広市）	フードバレーとかち推進協議会	
帯広市	フードバレーとかち人材育成事業 運営委員会	
帯広市	帯広市産業振興会議	オブザーバー
帯広市	十勝地域産業活性化協議会	副会長
帯広市・北海道中小企業家同友会とかち支部	帯広地域雇用創出促進協議会（※）	監事 /アドバイザー
帯広市	十勝ファームツーリズム等推進協議会	
帯広市	十勝フェスタ実行委員会	
帯広市	とかち観光誘致空港利用推進協議会	副会長
帯広市	とかち帯広空港における経営改革に関する検討会議	
帯広市	とかち高等教育推進まちづくり会議	
帯広市	十勝ドリームマップ会議実行委員会	
帯広市	帯広市ものづくり総合支援補助金審査会	審査員

主催機関・事務局等	会議等の名称	主な協力内容
帯広商工会議所・北海道十勝管内商工会連合会	とかち商工産業振興会議（とかちづくり会議）	オブザーバー
帯広商工会議所	とかちマルシェ推進協議会	幹事
帯広商工会議所	帯広チェンマイ交流協会	副会長
帯広商工会議所	Myとかち推進協議会	
帯広商工会議所	とかち創業支援ネットワーク会議	
十勝総合振興局	十勝食育推進会議	
十勝総合振興局	とかち食推進会議	
十勝総合振興局	とかち6次化検討部会	
十勝総合振興局	地域新産業創造事業審査委員会	
帯広信用金庫	とかち・イノベーション・プログラム	
帯広観光コンベンション協会	道東道とかち連携協議会	
帯広大谷短期大学	帯広大谷短期大学経営協議会	

※帯広地域雇用創出促進協議会との連携

帯広地域雇用創出促進協議会が、厚生労働省の委託事業「実践型地域雇用創造事業（平成29～31年度）」を実施するにあたり、平成29年7月1日より、十勝産業振興センター共同研究室を事務所として使用している。

これを契機に、同協議会との積極的な連携を図り、地域の事業創発の促進に取り組むこととしている。具体的には、同協議会が実施する新商品・新サービス開発事業「クリサポとかち」に事業アドバイザーを派遣し、技術的なアドバイス等の支援を実施している。

表60（関係機関等主催事業での主な事業PR実績）

開催日	出席した会議等の名称
平成29年5月17日	J Aネットワーク十勝（担当者会議）
平成29年6月10日	十勝管内商工会連合会（職員研修）
平成29年11月1日	北海道コーディネータ・ネットワーク・フォーラム

## 7 組織力強化の取り組み

第2期産業活性化ビジョンを着実に推進するための組織力強化について、以下の取り組みを実施した。

### (1) 財団ホームページのリニューアル

財団の事業内容や支援成果等をより効果的・積極的・広範囲に情報発信するため、オウンドメディアやSNS等を組み合わせる形で、平成30年3月22日に財団ホームページを全面リニューアルした。

Renew!

とかち財団のホームページをリニューアルしました。

職員が出演する事業紹介の他、動画コンテンツをホームページ、YouTubeにて公開中！

WEBマガジン「十勝Z団」がスタート！十勝のヒト、モノ、コトを紹介しています！

Facebookもスタート！最新情報をタイムリーに発信します！

とかち財団は十勝にイノベーションを引き起こす産業支援のプラットフォームです。

起業創業、事業の立ち上げ、電子制御装置の開発支援、食品開発や栄養成分分析、企業間コラボレーションなど、あなたのビジョンを実現するためのあらゆるステップに、力を尽くします。豊かな資源を、選ばれる商品に。とかち財団にご相談ください。

FREE WI-FI FOR BUSINESS

公益財団法人とかち財団 [www.tokachi-zaidan.jp](http://www.tokachi-zaidan.jp)

QRコード

## （2）職員評価育成制度の導入

適正な評価と活用により、職員の能力・勤労意欲の向上と活力に満ちた働き甲斐のある職場づくりを進め、財団の事務局体制を強化するため、職員評価育成制度を導入した。

平成29年度は制度を試行し、平成30年度より本格導入する。

## （3）職員研修の実施

職員の専門性・実践力の向上や、業務改善等への意識の強化等を促進し、財団の事務局体制を強化するため、以下の内部研修を実施するとともに、外部研修に職員を受講させた。

### ①内部研修（講師招聘による）

表 61（内部研修実施実績）

開催日	対象	内容・講師
H29. 7. 19	主査・管理職	内容：財団の役割・目指す姿等に関するディスカッション 講師：竹川会計事務所 代表社員 竹川 博之 氏
H30. 1. 31	管理職 (課長以上)	内容：仕事・職員・組織のマネジメント 講師：株式会社アムリプラザ 代表取締役 岡山 洋一 氏

### ②外部研修

表 62（主な外部研修受講実績）

受講内容等	受講者数
フードバレーとから人材育成事業・ビジネスコース	2
技術移転に関する目利き人材育成プログラム・コーディネート基礎コース	1
産業用ロボット特別教育インストラクターコース	1
クレーン操作特別教育	1
小型移動式クレーン操作技能講習	1
玉掛け技能講習	2
はんだ付け技能講習	2
公益法人会計・資産運用・税務等に関する基礎・実務講習（受講者数は延べ人数）	8

## 8 公益財団法人起業家支援財団との合併について

### （1）合併の背景と経緯

当財団は、平成5年の設立当初から、「ひとづくり」「ものづくり」「ながれづくり」の3本柱を基本として、第一次産業を核とした十勝地域の産業活性化を支援する事業を展開している。

十勝地域を取り巻く現状と課題や、これまでの取り組み等を踏まえ、平成29年3月に策定した「第2期産業活性化ビジョン（平成29～33年度）」では、十勝の未来につなぐ「価値」の創出と向上を目指し、産業振興を支援する事業の一体的な展開と地域連携の拡大・強化により、売れるものづくりや起業・事業創発につなげ、地域の産業活性化に貢献していくことを目標に掲げている。

このうち「ひとづくり」事業に関しては、設立当初から実施している技術者育成事業に加え、近年は地域の関係機関と連携し、事業の種を育て、起業・事業化を加速させるため、ビジネスプランの構築・強化や不足要素を補強支援する起業家育成事業（トカチコネクション）を実施し、地域の事業創発に取り組んでいる。

一方、神奈川県において起業家精神に溢れる人材を育成し、起業家の輩出等を図る事業を実施する「公益財団法人起業家支援財団」の理事長 松井 利夫 氏（株式会社アルプス技研 創業者・取締役会長）は、十勝地域の第一次産業および関連産業の可能性や、「フードバレーとかち」を推進するための地域一体となった産業の担い手育成に関する取り組みを非常に高く評価するとともに、起業家人材の育成を通じた農業（アグリビジネス）の活性化による地域振興への思いを強くしている。そのためには、「ひとづくり」による産業活性化について共通の方向性を有する両財団の合併が最適と考え、平成29年2月に松井理事長より「とかち財団が存続法人となる形での合併」の打診があった。

このように、両財団の「ひとづくり」への強い思いが一致したことから、この度の合併に至ったものである。

### （2）合併の目的

十勝の産業の担い手の育成等を通じた起業・事業創発の促進により、第一次産業を核とする地域産業を活性化する。

### （3）合併契約の効力発生日

平成30年4月1日

※効力発生日において、起業家支援財団の理事会で推薦された者を、当財団の理事および評議員に各1名加える。

### （4）合併に伴って新たに実施する人材育成事業

- ① 学生起業家支援（奨学金給付）
- ② アーリーステージ事業者支援（起業支援金助成）
- ③ 十勝人チャレンジ支援（調査研究費助成）

(5) 合併までの経過

開催日・時期	内容
H29. 2 月～8 月	起業家支援財団からの合併打診を受け、双方による協議を実施
H29. 9. 4	第 3 回理事会（合併に伴って新たに実施する事業の内容等を決議）
H29. 10. 24	第 4 回理事会（合併契約締結を決議） 合併契約の締結
H29. 11. 22	第 5 回理事会（公益法人変更認定申請を決議）
H30. 1. 5	プレスリリース
H30. 1. 11	合併記者会見（会場：十勝産業振興センター）  (左：起業家支援財団 松井理事長、中央：とかち財団 長澤理事長、右 帯広市 米沢市長)
H30. 1. 18	吸収合併契約に係る事前開示の開始
H30. 1. 23	行政特別委員会（十勝地域の市町村に対する経過報告）
H30. 2. 2	第 3 回評議員会（合併契約の承認を決議） 北海道に対する公益法人変更認定申請 ※合併に伴う事業内容の追加等に関し、所管行政庁である北海道に対し、公益法人変更認定申請を実施した。
H30. 2. 13	起業家支援財団との連名による「合併公告」の官報への掲載
H30. 2. 26	第 6 回理事会（新たな事業を含む平成 30 年度事業計画および予算の承認を決議） 第 2 回資産運用委員会（合併により承継する財産の取扱に関する協議）
H30. 3. 14	第 4 回評議員会（合併に伴う新たな理事・評議員の選任等を決議）
H30. 3. 23	北海道より公益法人変更認定を受ける
H30. 4. 1	合併の効力発生日

## 9 管理運営事項

### (1) 理事会

#### ①第1回

開催日	平成 29 年 6 月 5 日 (月)
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	10 名 (理事 8 名、監事 2 名)
審議事項	1. 平成 28 年度事業報告および決算の承認について 2. 評議員会の開催について
報告事項	1. 評議員の選任結果について 2. 事務局長の任命について 3. 規則等の制定および一部改正について 4. 理事、監事、評議員選考委員会の結果について 5. 平成 29 年度事業経過報告について

上記審議事項等について了承・決議された。

#### ②第2回 (定款第34条に基づくみなし決議)

決議があったものとみなされた日	平成 29 年 6 月 26 日 (月)
審議事項	1. 理事長 (代表理事) 1 名選定の件 2. 副理事長 3 名選定の件 3. 専務理事 (業務執行理事) 1 名選定の件

上記審議事項について決議された。

#### ③第3回

開催日	平成 29 年 9 月 4 日 (月)
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	10 名 (理事 8 名、監事 2 名)
審議事項	1. 公益財団法人起業家支援財団との合併について

上記審議事項について決議された。

#### ④第4回

開催日	平成 29 年 10 月 24 日 (火)
開催場所	北海道立十勝圏地域食品加工技術センター 研修室
出席者	8 名 (理事 7 名、監事 1 名)
審議事項	1. 公益財団法人起業家支援財団との合併契約締結について

上記審議事項について決議された。

⑤第5回

開催日	平成 29 年 11 月 22 日 (水)
開催場所	北海道立十勝圏地域食品加工技術センター 研修室
出席者	8 名 (理事 6 名、監事 2 名)
審議事項	1. 公益財団法人起業家支援財団との合併に係る公益法人変更認定申請について 2. 評議員会の開催について
報告事項	1. 平成 29 年度事業経過報告について

上記審議事項等について了承・決議された。

⑥第6回

開催日	平成 30 年 2 月 26 日 (月)
開催場所	北海道立十勝圏地域食品加工技術センター 研修室
出席者	11 名 (理事 9 名、監事 2 名)
審議事項	1. 規則の一部改正について 2. 平成 30 年度事業計画および収支予算について 3. 評議員会の開催について
報告事項	1. 公益財団法人起業家支援財団との合併に係る進捗状況について 2. 平成 29 年度第 1 回あり方検討委員会の結果について

上記審議事項等について了承・決議された。

(2) 評議員会

①第1回 (一般社団法人および一般財団法人に関する法律第 194 条に基づくみなし決議)

決議があったものとみなされた日	平成 29 年 4 月 27 日 (木)
審議事項	1. 評議員選任の件

上記審議事項について決議された。

②第2回

開催日	平成 29 年 6 月 26 日 (月)
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	12 名 (評議員 8 名、理事 2 名 [常勤]、監事 2 名)
審議事項	1. 平成 28 年度事業報告および決算の承認について 2. 理事、監事、評議員の選任について
報告事項	1. 評議員の選任結果について 2. 事務局長の任命について 3. 規則等の制定および一部改正について 4. 平成 29 年度事業経過報告について

上記審議事項等について了承・決議された。

③第3回

開催日	平成 30 年 2 月 2 日 (金)
開催場所	北海道立十勝圏地域食品加工技術センター 研修室
出席者	13 名 (評議員 9 名、理事 2 名 [常勤]、監事 2 名)
審議事項	1. 公益財団法人起業家支援財団と締結した合併契約の承認について 2. 常勤役員の報酬額の決定について
報告事項	1. 平成 29 年度事業経過報告について

上記審議事項等について了承・決議された。

④第4回

開催日	平成 30 年 3 月 14 日 (水)
開催場所	北海道立十勝圏地域食品加工技術センター 研修室
出席者	12 名 (評議員 8 名、理事 2 名 [常勤]、監事 2 名)
審議事項	1. 公益財団法人起業家支援財団との合併に伴う理事および評議員の選任について 2. 公益財団法人起業家支援財団との合併に伴う基本財産の指定について
報告事項	1. 公益財団法人起業家支援財団との合併に係る進捗状況について 2. 平成 29 年度第 1 回あり方検討委員会の結果について 3. 規則の一部改正について 4. 平成 30 年度事業計画および収支予算について

上記審議事項等について了承・決議された。

(3) あり方検討委員会

開催日	平成 29 年 12 月 18 日 (月)
開催場所	十勝産業振興センター 中会議室
出席者	6 名 (委員 4 名、理事 2 名 [常勤])
検討事項	1. 委員長の選出について 2. 第 2 期産業活性化ビジョンの進行管理 (PDCA) について 3. 組織力強化の取り組みについて

上記検討事項について事務局から説明がなされ、取扱い等について検討を行った。

(4) 資産運用委員会

①第1回

開催日	平成 29 年 7 月 18 日 (火)
開催場所	十勝産業振興センター 中会議室
出席者	5 名 (委員 3 名、理事 2 名 [常勤])

協議事項	1. 委員長の選出について 2. 資産運用の状況について 3. 今後の資産運用について
------	---

上記協議事項について事務局から説明がなされ、運用に関する検討を行った。

②第2回

開催日	平成 30 年 2 月 26 日 (月)
開催場所	北海道立十勝圏地域食品加工技術センター 研修室
出席者	4 名 (委員 2 名、理事 2 名 [常勤])
協議事項	1. 資産運用の状況について 2. 公益財団法人起業家支援財団との合併に伴い承継する財産の取扱について

上記協議事項について事務局から説明がなされ、運用に関する検討を行った。

(5) 行政特別委員会

開催日	平成 30 年 1 月 23 日 (火)
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	15 名
協議事項	1. 公益財団法人起業家支援財団との合併について 2. 平成 29 年度事業経過報告について 3. 平成 30 年度事業計画 (案) について 4. 基本財産の状況および平成 30 年度運営負担金について

上記協議事項について了承された。

以上